

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

2020
February
March
vol.269

2-3

beyond
2020

fiaf

国際フィルム・アーカイブ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

特別企画

オリンピック記録映画特集

—より速く、より高く、より強く



TOKYO 2020
応援プログラム



オリンピック記録映画特集

—より速く、より高く、より強く

会期：2月5日(水)～3月1日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

主催：国立映画アーカイブ 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会

特別協力：オリンピック文化遺産財団

協力：日本オリンピック委員会 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わの会」会員の方は300円。(会員証の提示が必要です。)



2/8(土) 14:00 2/14(金) 14:00

1960年 第17回夏季オリンピック ローマ(イタリア)大会

ローマ・オリンピック1960

競技だけでなく歴史都市ローマの魅力も力強く表現し、アカデミー賞長篇ドキュメンタリー部門に初めてノミネートされたオリンピック記録映画。オーソン・ウェルズ監督作品なども手掛けた作曲家、A・F・ラヴァニエの個性的な音楽も面白く、アベバ・ピキラ(マラソン)の走りの描写は、続く市川崑の『東京オリンピック』で頂点に達する、アスリートの内面描写の先駆と言える。街にはなぜかビング・クロスビーがふらりと出現。短縮版が1961年日本公開された。

監督：ロモロ・マルチェリーニ

1961年/デジタル/カラー/147分/日本語・英語字幕付き

2/13(木) 11:00 2/15(土) 11:00

1928年 第2回冬季オリンピック サン・モリッツ(スイス)大会 銀界征服

日本が初参加した冬季大会。山岳映画で知られるA・ファンクが自然描写に力量を発揮。スローモーションの使用、エキストラを演出したシーンの挿入などにより劇的に展開、傑作「オリンピア」二部作への道を開いた。その監督リーフェンシュタールはファンクの愛弟子で、エキストラとして2シーン登場している。編集はヴァルター・ルットマン。日本では当初「雪の競技」の題名で公開が告知され、『銀界征服』に改題して1929年3月公開。

※本作は音のないサイレント映画です。

監督：アーノルト・ファンク、オトマー・グルトナー

1928年/デジタル/モノクロ/サイレント/124分/日本語字幕付き

2/12(水) 14:00 2/16(日) 11:00

1972年 第20回夏季オリンピック ミュンヘン(西ドイツ)大会 時よとまれ、君は美しい/ミュンヘンの17日

8人の著名監督たちが各々の観点からオリンピックを捉えるオムニバス形式の映画。1973年日本公開。各パートの日本語タイトルは公開時のもの。

「始まりのとき」

開会式や、競技直前の緊張と集中の狭間にゆれる選手たちの姿を捉える。

監督：ユリー・オゼロフ

「最も強く」

重量挙げ。トレーニングに打ち込む選手たちの執念から、食事作りの現場まで描かれる。

監督：マイ・セッテリング

「最も高く」

棒高跳び。空中での選手の身体の動きや落下する際の表情の変化を、美的なスローモーションで捉える。

監督：アーサー・ベン

「美しき群像」

かつては参加さえも許されていなかった女性選手に捧げられた一篇。体操のリュドミラ・ツリシチェワの演技とマンシーニの音楽が見事な調和を見せている。

監督：ミハエル・フレガー

「最も速く」

男子100メートル走決勝をスローモーションで描く。

監督：市川崑

「二日間の苦闘」

十種競技。ベートーヴェンの第九やバイエルン地方の伝統音楽の演奏風景と、選手たちの過酷な闘いがクロスされ、さらに睡魔と闘うスタッフも加わり、スポーツのおかしみが表現されている。

監督：ミロシュ・フォルマン

「敗者たち」

ボクシング、柔道、自転車、馬術、男女競泳、女子やり投げ、レスリングの敗者たちを描く。

監督：クロード・ルルーシュ

「最も長い闘い」

マラソン、およびペトロとその後の日々を捉える。

監督：ジョン・シュレジンジャー

メインタイトルシーケンス監督：メル・スチュアート

1973年/デジタル/カラー/110分/日本語字幕付き

2/5(水) 14:00 2/9(日) 15:00

1936年 第11回夏季オリンピック ベルリン(ドイツ)大会

民族の祭典

後世に多大な影響を与えた映像への賞賛と、芸術と政治をめぐる問題の提起で今日なお評価の揺れる最も有名なオリンピック映画のひとつ。『美の祭典』と併せて「オリンピア」二部作として完成された。古代ギリシア精神の継承をイメージ化した長いプロローグに始まる本作は、開会式と、十種競技以外の陸上競技種目を中心に構成されている。二部作でヴェネツィア国際映画祭作品賞を受賞し、日本では1940年に公開された。撮影はハンス・エアトルほか50名近くが関わっている。

監督：レニ・リーフェンシュタール

1938年/デジタル/モノクロ/126分/日本語・英語字幕付き

2/6(木) 14:00 2/9(日) 11:00

1936年 第11回夏季オリンピック ベルリン(ドイツ)大会

美の祭典

本作では選手たちの肉体的美しさや、競技と編集の生み出すリズム感の表現に重点が置かれている。『民族の祭典』とともども、十分な撮影のできなかった競技では再現映像や練習時の撮影素材を使うなど、大会記録としての真正さよりも、リーフェンシュタールの理想とする作品の完成度が優先された。日本では公開に際して、前畑秀子が制した女子200メートル平泳ぎ決勝のニュース映像が挿入された。撮影はハンス・エアトルほか50名近くが関わっている。1940年日本公開。

監督：レニ・リーフェンシュタール

1938年/デジタル/モノクロ/103分/日本語・英語字幕付き

2/6(木) 11:00 2/11(火・祝) 11:00

1936年 第4回冬季オリンピック ガルミッシュ＝パルテンキルヒェン(ドイツ)大会

世界の若者たち

夏季ベルリン大会と並ぶもうひとつの「ナチ・オリンピック」だが、貧困者の悲劇をリアリズムで描いた「これが人生」(1930)で知られる監督のユンハンスは、プロパガンダよりも、冬季競技のスピード感とスリルの表現に賭けた。選手宣誓を行うノルディック複合選手のウィリー・ボグナーは、『白い恋人たち』の撮影監督であるウィリー・ボグナーの父。

監督：カール・ユンハンス、ヘルベルト・ブリーガー

1936年/デジタル/モノクロ/38分/日本語・英語字幕付き

1936年 第11回夏季オリンピック ベルリン(ドイツ)大会

1936年オリンピック映画の製作風景

「オリンピア」公開に先立って公開された短篇。男女二人組が登場し、それぞれがフランス語・英語でナレーションを行う。映像の断片を次々に見せる編集がスリリングで、がぜん本篇への期待感をあおり、撮影・編集現場の様子が非常に興味深い。監督は「オリンピア」のテクニカルアドバイザーでもある。

監督：ルードルフ・シャート

1937年/デジタル/モノクロ/34分/日本語字幕付き

2/7(金) 11:00 2/15(土) 14:00

1956年 第16回夏季オリンピック メルボルン(オーストラリア)大会

美と力の祭典 メルボルン・オリンピックの記録

肉体と運動の美の表現は

「オリンピア」で極められた感があり、その後のオリンピック記録映画は別の方向を模索し始める。本作はその転換点に位置する。選手たちのリラックスした表情は、ローマ大会以後しばらく顕著となる、選手の内面描写への道を開くものであるだろう。軽やかなタッチが爽快で魅力的な一本。1957年日本公開。



Photo:©1956/Comité International Olympique(CIO)

監督：ルネ・リュコ

1957年/デジタル/カラー/106分/日本語・英語字幕付き

2/7(金) 14:00 2/11(火・祝) 14:00

1948年 第5回冬季オリンピック サン・モリッツ(スイス)大会(冒頭の40分ほど)

1948年 第14回夏季オリンピック ロンドン(英国)大会

ロンドン・オリンピック

1948年の冬季と夏季大会の記録。オリンピック記録映画初のカラー作品で、テクニカラーの美しい色彩で描かれた色とりどりの国旗や、風光明媚なカヌー競技会場の様子も目を楽ませる。ナレーターはサム・ウッド監督『打撃王』(1942)にも登場した有名アナウンサー、ビル・スターン。音楽の演奏はロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団。日本とドイツは招待されていない。1949年日本公開。



Photo:©1948/itm:#f_373644

製作：キャッスルトン・ナイト

1948年/デジタル/カラー/138分/日本語字幕付き

2/8(土) 11:00 2/14(金) 11:00

1968年 第10回冬季オリンピック グルノーブル(フランス)大会

白い恋人たち/グルノーブルの13日

競技が後景に退くのも辞さず、オリンピック開催中のグルノーブルの街をまるごと描こうとした異色作。会期中に開かれていたイベントの出演者として、シルヴィ・ヴァルタン、ジョニー・アリデイらの姿が見られ、ベジャールのパレエ公演の模様も映る。監督のひとりレジャンパックは、アメリカの風物を捉えた記録映画『アメリカの裏窓』(1960)の監督。アルペン滑降のコースを滑走しながら撮影しているのは、60年冬季大会のアルペン競技にドイツ代表として出場し、のちに007映画などのスキーシーン演出も手掛けるウィリー・ボグナー。1969年日本公開。



Photo:©1968/Comité International Olympique(CIO)

監督：クロード・ルルーシュ、フランソワ・レジャンパック

1968年/デジタル/カラー/112分/日本語・英語字幕付き

2/13(木) 14:00 2/29(土) 11:00

1948年 第5回冬季オリンピック サン・モリッツ(スイス)大会 憎しみなき闘い

近代オリンピックの誕生から説き起こされ、男性の声によるナレーションが進行していると、突然「妻」がわりこんできて、さらには「妻」にちょっかいを出す別の男も登場。かくして競技映像と並行し、音声上では別のストーリーも展開される。脚本は1930年代から50年代までのフランス映画を支えたシャルル・スパーク。12年ぶりに開催されたオリンピックで、日本とドイツは招待されていない。

監督:アンドレ・ミシェル
1948年/デジタル/モノクロ/91分/日本語・英語字幕付き

2/16(日) 14:00 2/27(木) 11:00

1976年 第21回夏季オリンピック モントリオール(カナダ)大会 第21回オリンピック大会

女子体操のネリー・キム、男子100メートル走のシルビオ・レオナルド、十種競技のブルース・ジェンナー、ハンガリー近代五種チームをメインに展開。舞台裏も交えてアスリートの心身の苦闘に迫る。キムがチームのエースへと躍進し、天才ナディア・コマネチと競う過程がスリリング。ニュージーランドラグビーチームの南ア遠征に抗議してアフリカ諸国がボイコットした大会でもあり、選手村入村後に帰国が決まった選手たちの声も聞かれる。

総監督:ジャン＝クロード・ラブルク
1977年/デジタル/カラー/118分/日本語・英語字幕付き

2/19(水) 11:00 3/1(日) 11:00

1998年 第18回冬季オリンピック 長野(日本)大会 1998長野オリンピック 名誉と栄光の物語

日本で2回目となる冬季オリンピック。ケガで出場も危ぶまれていたフィギュア女子シングルの陳露(ルー・チェン)の苦闘や、金メダルに輝いた日本スキージャンプチームの原田雅彦の想いなどが、インタビューも交えて描かれる。またボブスレー男子2人乗りで、同タイムで金メダルとなったイタリアとカナダチームもフィーチャーされている。

監督:パド・グリーンズパン
1999年/デジタル/カラー/119分/日本語字幕付き

2/19(水) 14:00 2/29(土) 14:00

1972年 第11回冬季オリンピック 札幌(日本)大会 札幌オリンピック

スピードスケーター鈴木恵一や、スキージャンプの笠谷幸生の談話を交え、「運動の美しさ、スポーツにおける不安と恍惚」(篠田談)に迫る。詩的なナレーション、現場の音を積極的に拾う音響構成も面白い。アルペン選手カール・シュランツが、アマチュア規定に抵触したとして開会直前に除名された事件(のちに名誉回復)も記録。撮影部は鈴木達夫ら約90名。途中10分の休憩をはさみます。

総監督:篠田正浩
1972年/デジタル/カラー/167分/英語字幕付き

2/20(木) 11:00 2/23(日・祝) 11:00

1976年 第12回冬季オリンピック インズブルック(オーストリア)大会 ホワイトロック

俳優J・コバーンが案内役として登場し、ボブスレーやバイアスロンを体験しながら冬季競技の魅力を伝え、プログレバンド「イエス」のリック・ウェイクマンによる電子音楽が、流線型のウェアが本格化した大会にふさわしい未来的なタッチを付け加える。監督は『バーニング』(1981)のトニー・メイラム。フィギュア金メダリストベアの後ろに映る女性コーチは、のちに荒川静香や浅田真央も育てるタチアナ・タラソワ。1977年日本公開。

監督:トニー・メイラム
1977年/デジタル/カラー/77分/日本語字幕付き

2/20(木) 14:00 3/1(日) 14:00

1964年 第18回夏季オリンピック 東京(日本)大会 東京オリンピック

1940年の開催中止を乗り越えてアジアで初の開催となった東京大会の記録。アスリートたちの心の裡に迫ろうとする姿勢と工夫、一場面に複数のカメラを動員する撮影態勢など、総監督市川崑ならではの創意が全篇を貫き、完成するや「芸術か記録か」の論争を巻き起こした画期的な作品。使用されたカメラは103台、撮影フィルムの長さは約40万フィート(約74時間)、携わったスタッフは総勢556名と伝えられる。カンヌ国際映画祭で国際批評家賞を受賞した。途中10分の休憩をはさみます。



総監督:市川崑
1965年/デジタル/カラー/170分/英語字幕付き

2/21(金) 11:00 2/22(土) 11:00

1988年 第24回夏季オリンピック ソウル(韓国)大会 ハンド・イン・ハンド

監督は『風の丘を越えて/西便制』(1993)などで知られるイム・グオンテク。朝鮮戦争の記憶や過去2大会の大規模ボイコットを踏まえ、平和の大会であることを強調。男子100メートル走決勝のカル・ルイスとベン・ジョンソンの世紀の対決から、ドーピング問題や、ボクシングの判定問題などにも目を向ける。さらにオリンピックの芸術祭も記録されており、多様な視点に興味深い。



Photo:©1988/Comité International Olympique(CIO)/SCHIAPPA

監督:イム・グオンテク
1989年/35ミリ/カラー/119分/日本語字幕付き

2/21(金) 14:00 2/24(月・休) 14:00

1968年 第19回夏季オリンピック メキシコシティ(メキシコ)大会 太陽のオリンピアーメキシコ 1968—

最終聖火ランナーを初めて女性が務めた大会。ディック・フォスベリーによるオリンピック初の背面跳び、男子走り幅跳びボブ・ビーモンの驚異的世界記録、男子200メートル走表彰式など、オリンピック史に残る場面が多数記録されている。日本では1969年、市川崑編集監修の124分版が公開された。途中10分の休憩をはさみます。



Photo:©1968/Comité International Olympique(CIO)

監督:アルベルト・イサーク
1969年/デジタル/カラー/160分/日本語・英語字幕付き

2/22(土) 14:00 2/28(金) 14:00

1984年 第23回夏季オリンピック ロサンゼルス(米国)大会 栄光の16日

米国のグレナダ侵攻を理由として東側諸国がボイコット。スポーツドキュメンタリーを撮っていたグリーンズパンが、オリンピック映画を初めて手掛けた。その後、彼は多くのオリンピック映画を撮ることとなる。世界記録保持者だが負傷が完治せず、決勝で最下位に終わったデイヴィッド・ムーアクロフト(男子5000メートル走)など選手のインタビューを交えながら、競技への想いが描かれる。



Photo:©1984/itm:n#_373644

監督:パド・グリーンズパン
1986年/デジタル/カラー/145分/日本語字幕付き

2/23(日・祝) 14:00 2/27(木) 14:00

1980年 第22回夏季オリンピック モスクワ(ソヴィエト連邦)大会 スポーツよ、君は平和だ!

ソ連のアフガニスタン侵攻に反対する米国の呼びかけで、西側諸国の多くがボイコットした大会。独走戦を描いた大作『ヨーロッパの解放』(1970—71)で知られる監督ユリー・オゼロフは、国家の威信をかけたこの大会のスケール感を伝える一方、古代オリンピックについて語るチャーミングなアニメーションを随時挿入することで、重量感を適度にやわらげようとしている。



Photo:©1980/itm:n#_373644

監督:ユリー・オゼロフ
1981年/デジタル/カラー/149分/日本語・英語字幕付き

2/24(月・休) 11:00 2/28(金) 11:00

1992年 第25回夏季オリンピック バルセロナ(スペイン)大会 マラソン

監督は『カラスの飼育』(1975)などで知られるカルロス・サウラ。世界的なテノール歌手、ホセ・カレーラスが音楽監督を務めた開会式は、オリンピック史上屈指のスペクタクル。様々な競技の様子が描かれるが、全篇を貫くマラソンが、すべての競技を包み込み、あらゆるアスリートの苦闘を集約していく特異な構成になっている。



Photo:©1992/Comité International Olympique(CIO)

監督:カルロス・サウラ
1993年/デジタル/カラー/130分/日本語・英語字幕付き

講演

2/9(日) 14:00~14:50

「オリンピック記録映画の歴史と復元」

講演者:エイドリアン・ウッド(オリンピック記録映画復元担当者)



エイドリアン・ウッド

英国生まれ。1970年代半ばから、TVドキュメンタリー制作のためのフィルム調査に従事し、ビーボディ賞などの数々の賞を受賞。1990年代半ばにIOC(国際オリンピック委員会)から依頼を受け、オリンピック記録映画の復元プロジェクトをIOCのロベール・ジャキエ氏とともに四半世紀にわたり牽引。モットーは「フィルムは失われたのではない、我々がまだ発掘していないだけだ」。現在、福岡市在住。

©2015/International Olympic Committee(IOC)/MEYLAN, Arnaud

※講演は有料で15時からの「民族の祭典」の上映とセット料金です。※開場は開演の30分前。



1 土	休 映 日	
2 日	自主上映／福岡映画サークル協議会例会	
3 月	休 館 日	
4 火	休 映 日	
5 水	14:00 1936年 夏季 ベルリン 民族の祭典	
6 木	11:00 1936年 冬季 カルミッシュ＝バルテンキルピエン 世界の若者たち 他	14:00 1936年 夏季 ベルリン 美の祭典
7 金	11:00 1956年 夏季 メルボルン 美と力の祭典 メルボルン・オリンピックの記録	14:00 1948年 夏季 ロンドン ロンドン・オリンピック
8 土	11:00 1968年 冬季 グルノーブル 白い恋人たち/グルノーブルの13日	14:00 1960年 夏季 ローマ ローマ・オリンピック 1960
9 日	11:00 1936年 夏季 ベルリン 美の祭典	14:00 講演 15:00 1936年 夏季 ベルリン 民族の祭典
10 月	休 館 日	
11 火 祝	11:00 1936年 冬季 カルミッシュ＝バルテンキルピエン 世界の若者たち 他	14:00 1948年 夏季 ロンドン ロンドン・オリンピック
12 水		14:00 1972年 夏季 ミュンヘン 時よとまれ、君は美しい/ミュンヘンの17日
13 木	11:00 1928年 冬季 サン・モリッツ 銀界征服	14:00 1948年 冬季 サン・モリッツ 憎しみなき闘い
14 金	11:00 1968年 冬季 グルノーブル 白い恋人たち/グルノーブルの13日	14:00 1960年 夏季 ローマ ローマ・オリンピック 1960
15 土	11:00 1928年 冬季 サン・モリッツ 銀界征服	14:00 1956年 夏季 メルボルン 美と力の祭典 メルボルン・オリンピックの記録
16 日	11:00 1972年 夏季 ミュンヘン 時よとまれ、君は美しい/ミュンヘンの17日	14:00 1976年 夏季 モントリオール 第21回オリンピック大会
17 月	休 館 日	
18 火	休 映 日	
19 水	11:00 1998年 冬季 長野 1998長野オリンピック 名譽と栄光の物語	14:00 1972年 冬季 札幌 札幌オリンピック
20 木	11:00 1976年 冬季 インスブルック ホワイトロック	14:00 1964年 夏季 東京 東京オリンピック
21 金	11:00 1988年 夏季 ソウル ハンド・イン・ハンド	14:00 1968年 夏季 メキシコシティ 太陽のオリンピア－メキシコ1968－
22 土	11:00 1988年 夏季 ソウル ハンド・イン・ハンド	14:00 1984年 夏季 ロサンゼルス 栄光の16日
23 日 祝	11:00 1976年 冬季 インスブルック ホワイトロック	14:00 1980年 夏季 モスクワ スポーツよ、君は平和だ!
24 月 休	11:00 1992年 夏季 バルセロナ マラソン	14:00 1968年 夏季 メキシコシティ 太陽のオリンピア－メキシコ1968－
25 火	休 館 日	
26 水	休 映 日	
27 木	11:00 1976年 夏季 モントリオール 第21回オリンピック大会	14:00 1980年 夏季 モスクワ スポーツよ、君は平和だ!
28 金	11:00 1992年 夏季 バルセロナ マラソン	14:00 1984年 夏季 ロサンゼルス 栄光の16日
29 土	11:00 1948年 冬季 サン・モリッツ 憎しみなき闘い	14:00 1972年 冬季 札幌 札幌オリンピック
3/1 日	11:00 1998年 冬季 長野 1998長野オリンピック 名譽と栄光の物語	14:00 1964年 夏季 東京 東京オリンピック
2 月・3 火	休 館 日	
4 水▶8 日	休 映 日	
9 月▶16 月	図書整理・点検のための休館	

オリンピック記録映画特集

オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が迫ってきました。4年ごとに世界の注目を浴びるこのスポーツの祭典ですが、その姿が初めて映画のフィルムに収まったのは、金栗四三ら日本の代表団が初参加した1912年のストックホルム大会でのことです。1930年には国際オリンピック委員会(IOC)が各大会の記録映画作りを義務づけると、以降は大会ごとに公式映画が作られ、また非公式にも優れたドキュメンタリー作品が生まれました。

オリンピック記録映画は、各競技の歴史や名アスリートたちの活躍を見る楽しみに満ちているだけではありません。それと同時に、レニ・リーフェンシュタール、市川崑、クロード・ルーシュ、篠田正浩、イム・グオンテク、カルロス・サウラといった世界的な監督たちの活躍の場にもなり、映画芸術にとっても挑戦の機会となってきました。

この企画では、IOC傘下のオリンピック文化遺産財団(スイス・ローザンヌ市)から上映素材の提供を受け、歴代の記録映画の中から厳選された、1998年長野冬季大会までの21作品(20プログラム)を一挙に上映します。その大半は、IOCの映画復元プロジェクトによりデジタル復元されたものです。上映と併せて映画復元プロジェクトを担当したエイドリアン・ウッド氏の講演を開催します。

自主上映のお知らせ

2月2日(日) 福岡映画サークル協議会例会

上映作品:「タクシー運転手」(2017年/137分/韓国)

①11:00～ ②14:00～

料 金: 一般 当日1,400円(前売り1,200円)
シニア 当日1,100円/中高生800円
障がいのある方1,000円

主 催: 福岡映画サークル協議会 TEL092-781-2817

※詳細については直接主催者にお問い合わせください。

図書整理・点検のための休館

福岡市総合図書館は3月9日(月)～3月16日(月)まで図書整理のため休館します。休館中も図書は返却ポスト等に返却できます。図書整理期間中CD、DVD、VHSは総合図書館警備員室前のボックスに返却することができます。

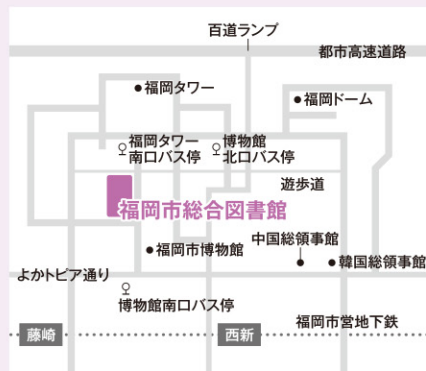
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。